



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。

- ・縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップは外さないでください。
- ・方立用シール材は、内窓上枠および連窓方立の形状に合わせて張ってください。
- ・内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。
- ・連窓セットを取付ける場合、排水のため連窓方立下部キャップに必ず穴あけ加工してください。
- ・背板の取付け時は、背板の4周(本体上枠、縦枠の本体固定金具、天板)に防水テープを張って、さらに圧着してください。

■組立て上のおお願い

- 内窓は性能や仕様を選択していただくため、別売りとなっています。
- テーブル板は色柄および形状(角型、ポストフォーム型)を選択していただくため、別売りとなっております。
- テーブル板に張ってある取付け説明書は、はがさないでください。
- 内窓の組立てについては、内窓に同梱の組立て説明書を確認してください。
- 背板取付け部のホコリ・油などを除去してから取付けてください。

■組立て部品一覧表

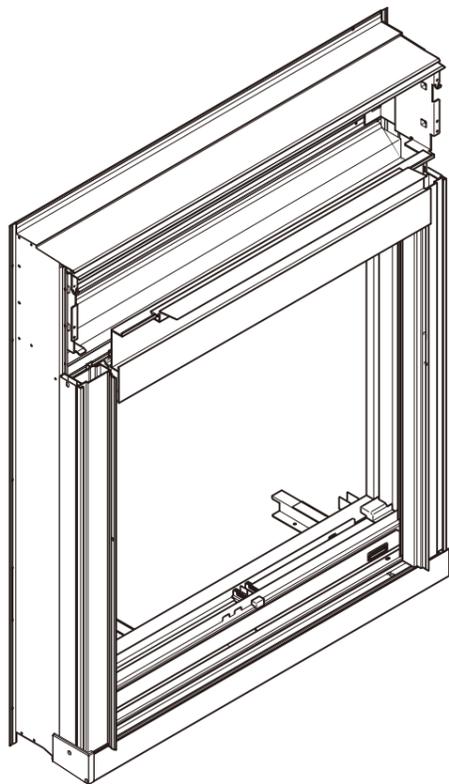
※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪
名称	上枠カバー固定金具A	サイドキャップ	方立用シール材	プッシュボタン	下枠カバーアタッチメント
姿図					
使用個所	上枠-上枠カバー	縦枠下部	方立上部(連窓のみ使用)	上枠カバー	内窓下枠-下枠カバー
袋表示	表示なし		組立て用1		表示なし

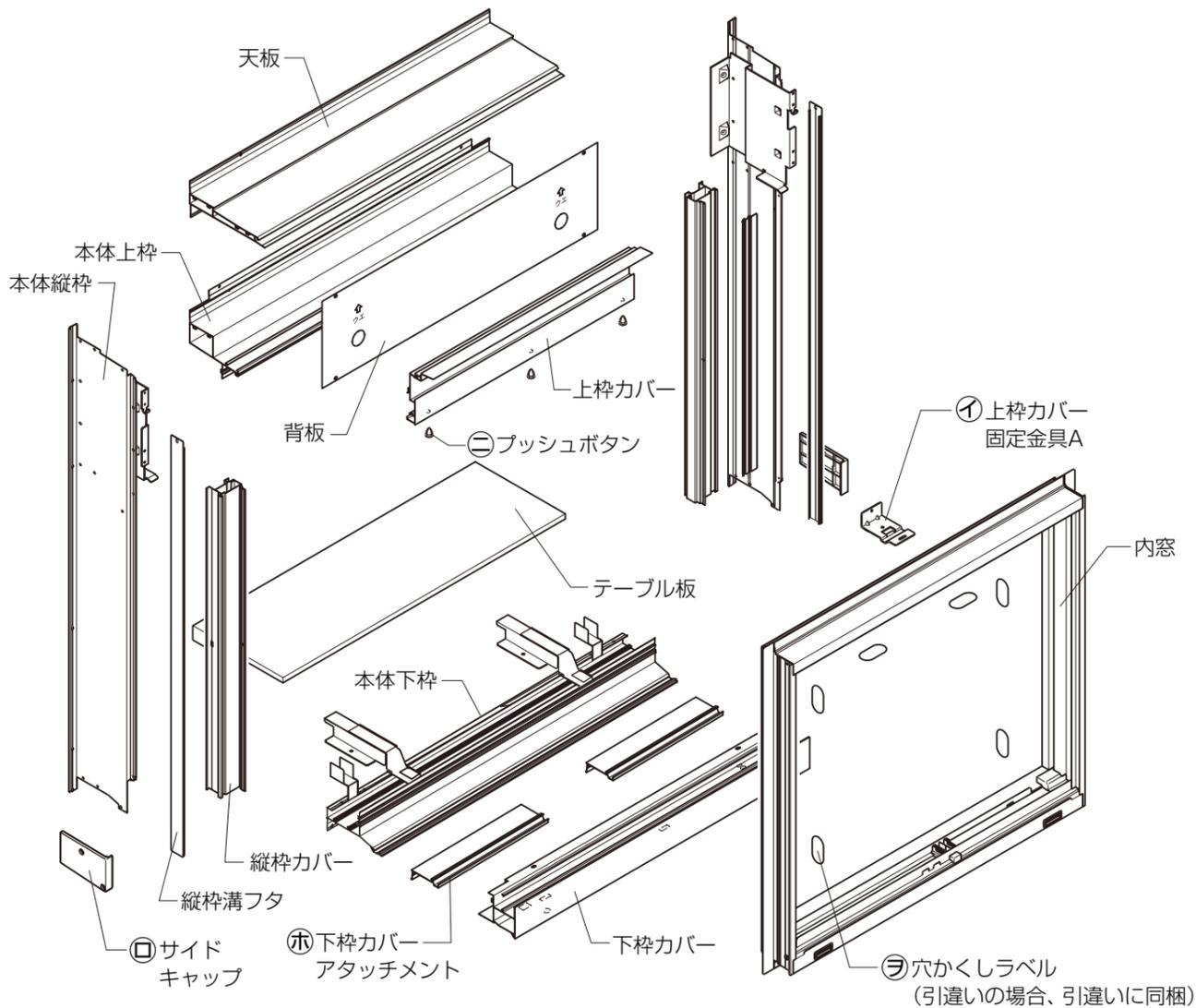
記号	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯
名称	上枠カバー固定金具B	バインドタッピンねじφ4×30	ナベテクスねじφ3.5×19(色なし)	ナベテクスねじφ3.5×13(色付)	バインド小ねじM4×8
姿図					
使用個所	上枠-上枠カバー	上枠-縦枠 下枠-縦枠 天板-縦枠溝フタ	内窓-本体 縦枠-縦枠カバー 上枠カバー固定金具	下枠-下枠カバー	内窓上枠-上枠カバー固定金具 下枠カバー-下枠カバーアタッチメント
袋表示	表示なし	組立て用2	組立て用2、カバー用		組立て用2

記号	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴
名称	皿タッピンねじφ4×35	穴かくりラベル	背板	皿小ねじM4×5	防水テープ
姿図					
使用個所	下枠-サイドキャップ	内窓上・縦枠(引違い窓のみ)			
袋表示	組立て用2	(内窓引違いに同梱)	表示なし	背板取付け部品セット	

■ 姿図

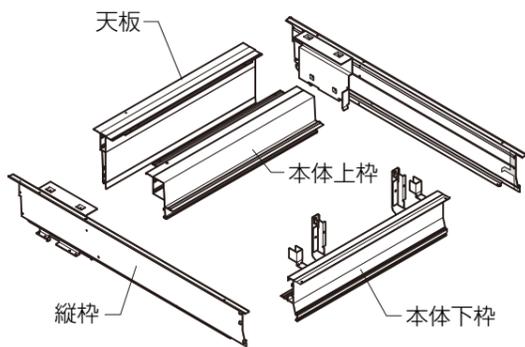


■ 各部名称図



■ 組立て順序

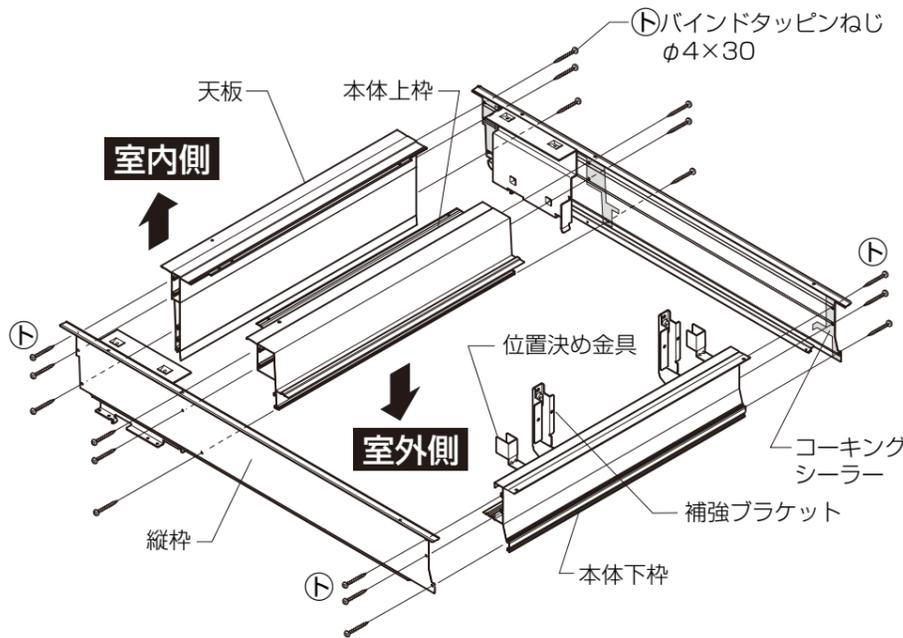
1 本体上・下枠と縦枠の組立て



■ 組立て詳細

1 本体上・下枠と縦枠の組立て

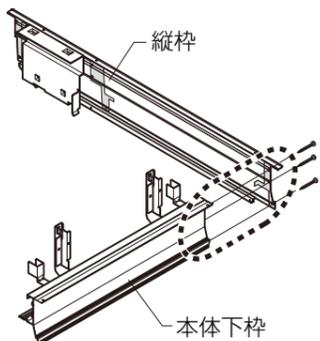
● 各部材の室内側・室外側の向きを合わせ、①バインドタッピンねじで止めてください。
※ねじ止めの際は、補強ブラケットを上にして組立ててください。補強ブラケットおよび位置決め金具が変形するおそれがあります。



▲ 注意

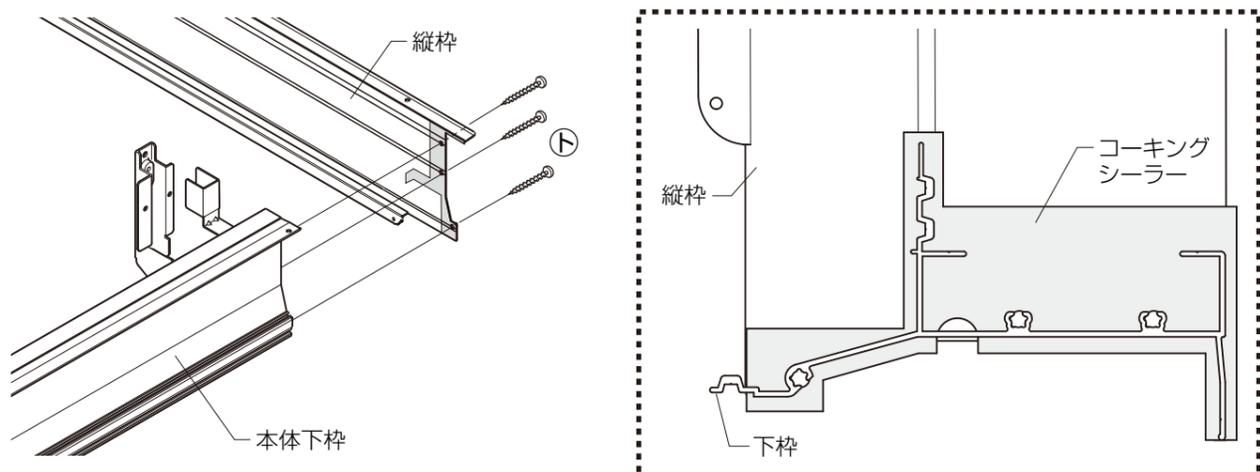
- ①バインドタッピンねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠にはみ出すように合わせてから、すき間なくねじ止めしてください。

1 縦枠と本体下枠の組立て

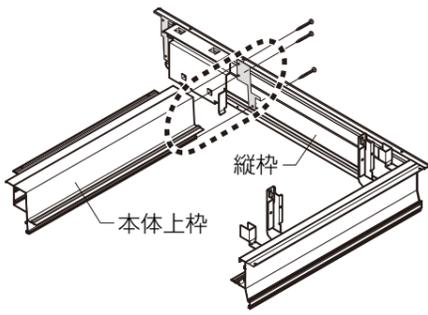


1 縦枠と本体下枠の組立て

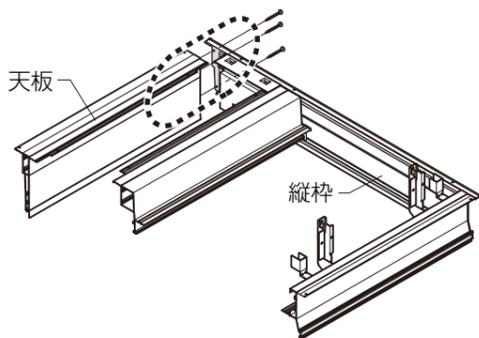
● 縦枠と本体下枠の位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじ3本を仮止めします。再度本体下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



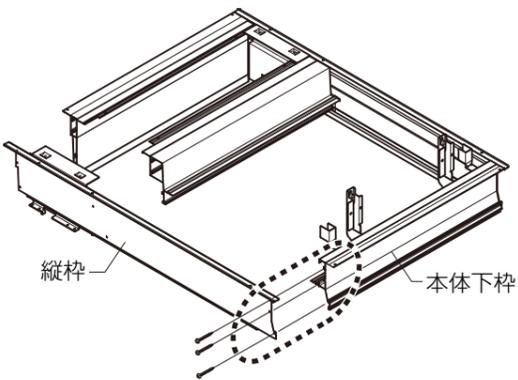
②縦枠と本体上枠の組立て



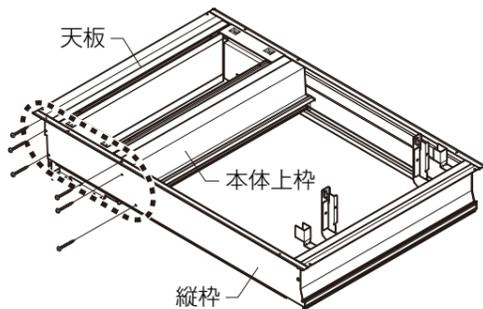
③縦枠と天板の組立て



④縦枠と本体下枠の組立て

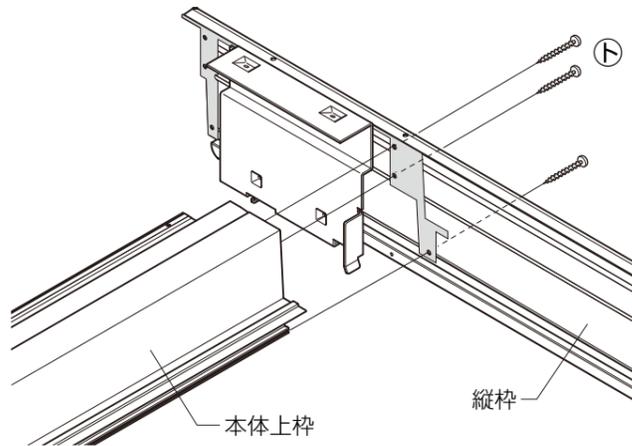


⑤縦枠と本体上枠・天板の仮止め



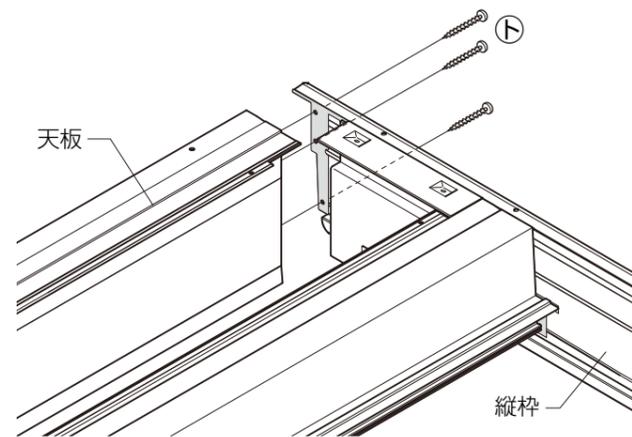
②縦枠と本体上枠の組立て

●縦枠と本体上枠の位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじ3本を仮止めします。再度本体上枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



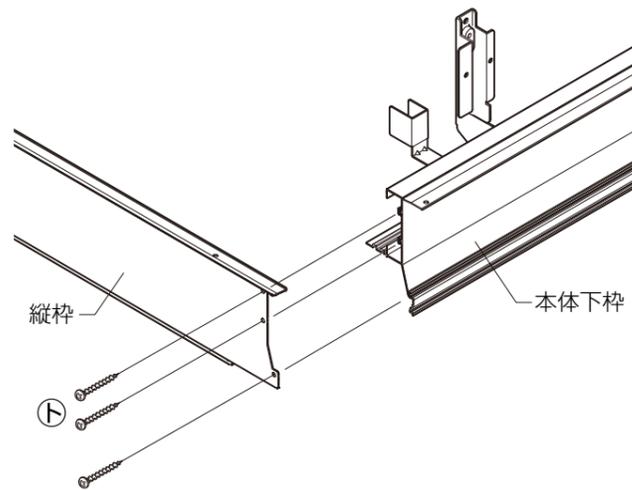
③縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじ3本を仮止めします。再度天板の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



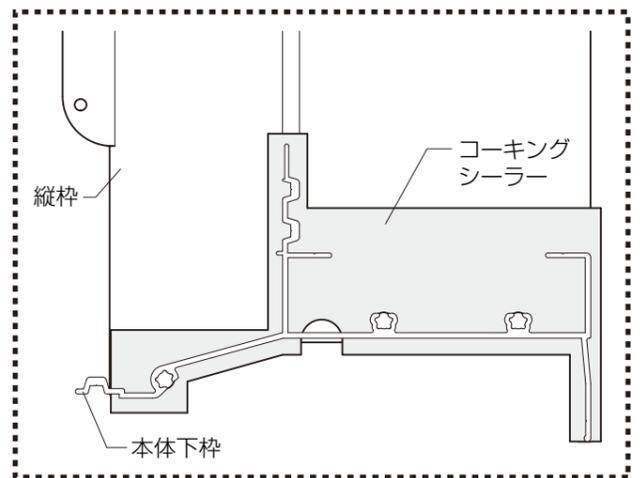
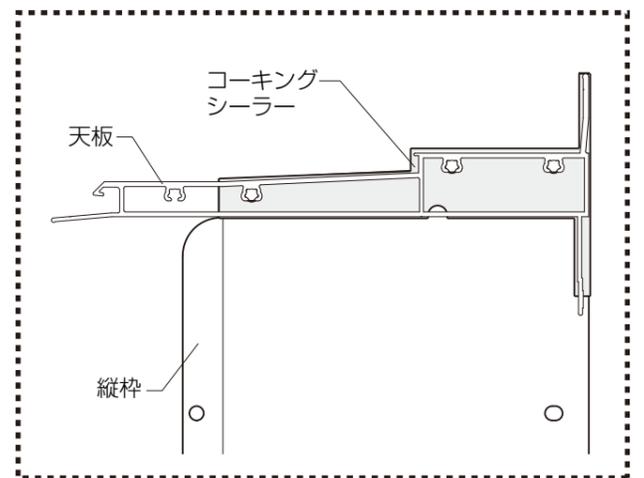
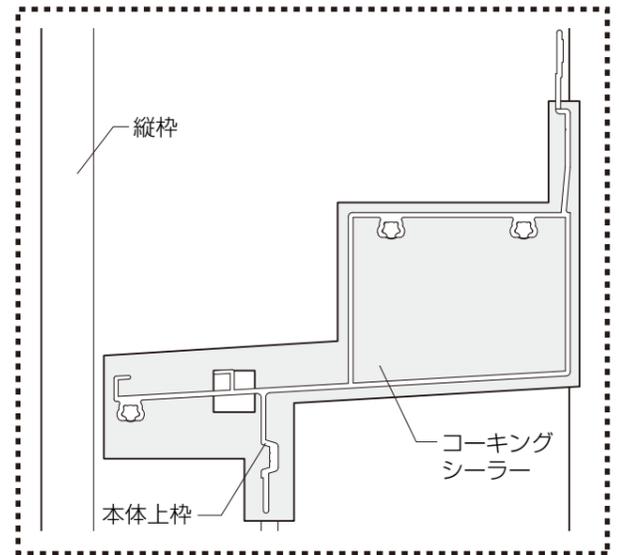
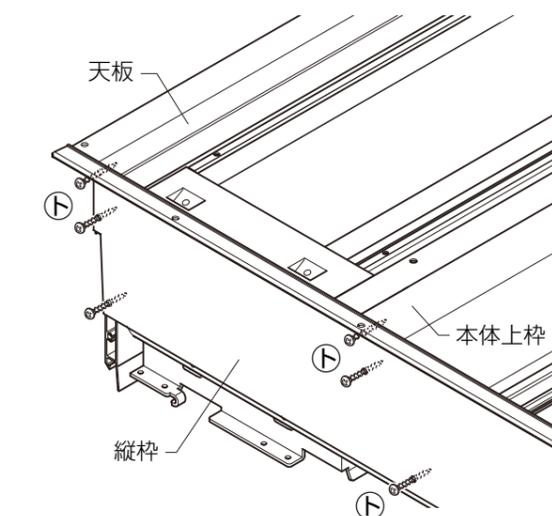
④縦枠と本体下枠の組立て

●縦枠と本体下枠の位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじ3本を仮止めします。再度本体下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



⑤縦枠と本体上枠・天板の仮止め

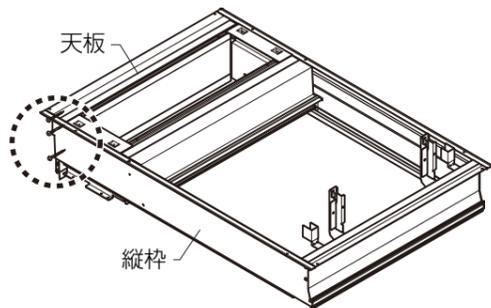
●縦枠と本体上枠・天板の位置合わせをし、①バインドタッピンねじの先端を差込み、2～3回転ほど締めて仮止めします。



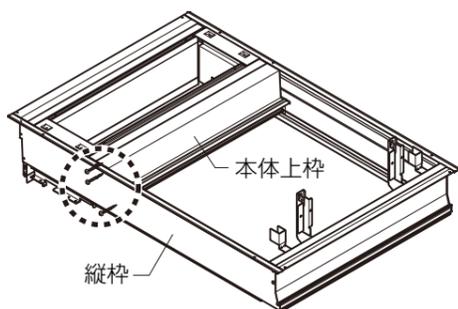
▲ 注意

●天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

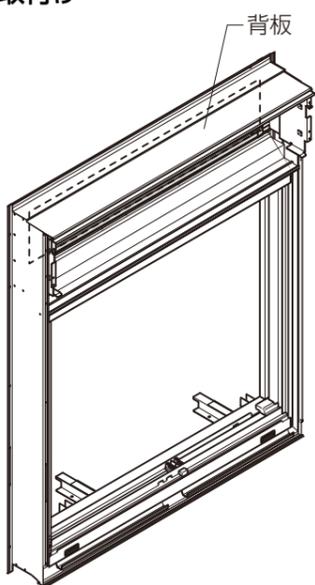
⑥縦枠と天板の固定



⑦縦枠と本体上枠の固定

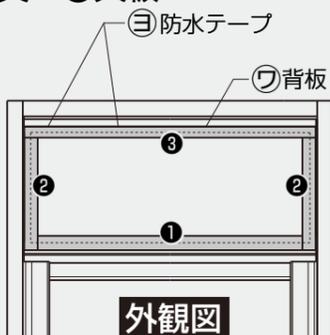


⑧背板の取付け



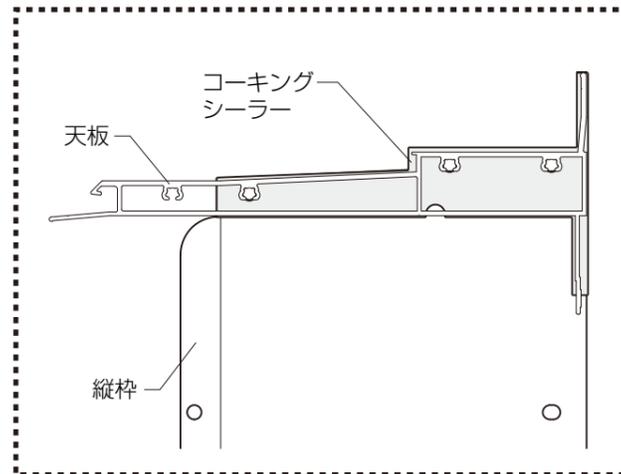
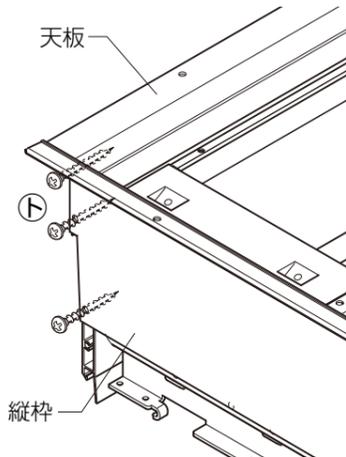
▲注意

- 防水テープは、下記の順序で背板の4周に必ず圧着してください。
- ①本体上枠→②縦枠の本体固定金具→③天板



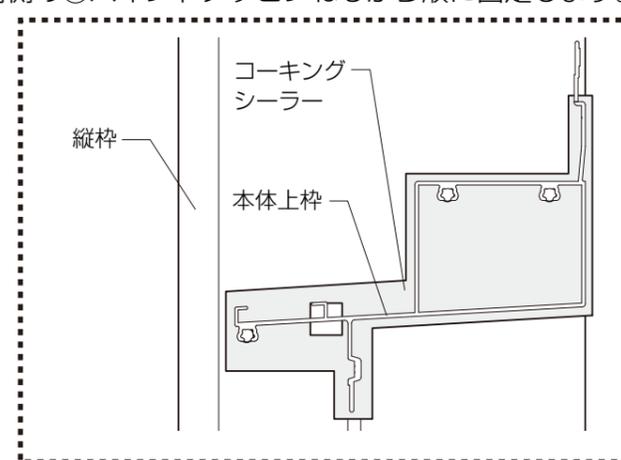
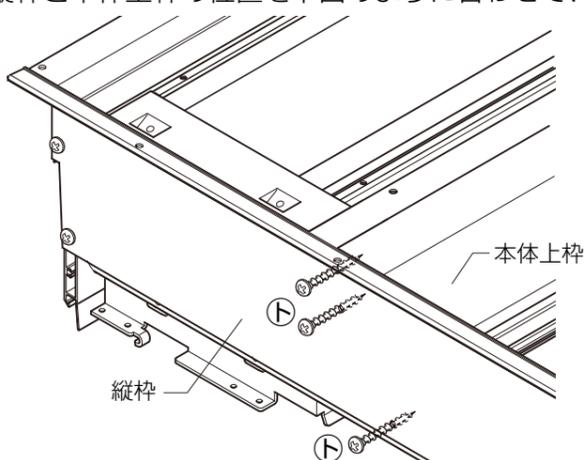
⑥縦枠と天板の固定

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、室内側の㊦バインドタッピンねじから順に固定します。



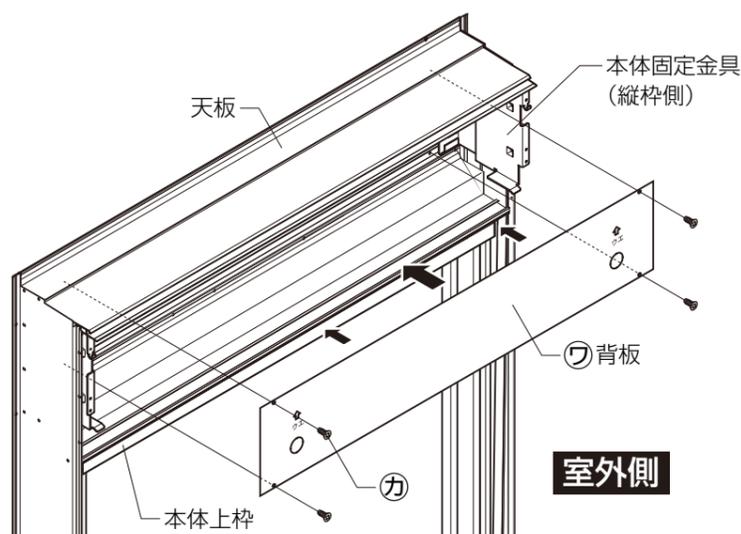
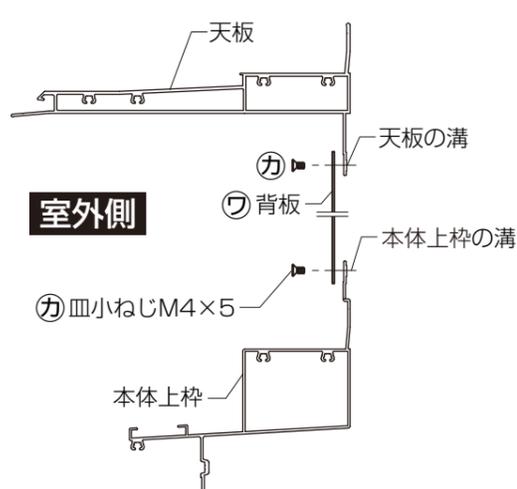
⑦縦枠と本体上枠の固定

●縦枠と本体上枠の位置を下図のように合わせて、室内側の㊦バインドタッピンねじから順に固定します。

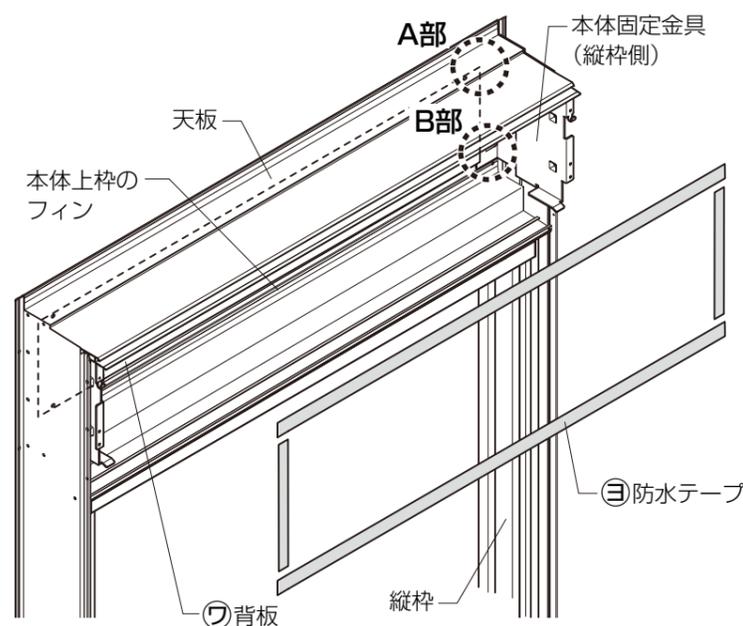


⑧背板の取付け

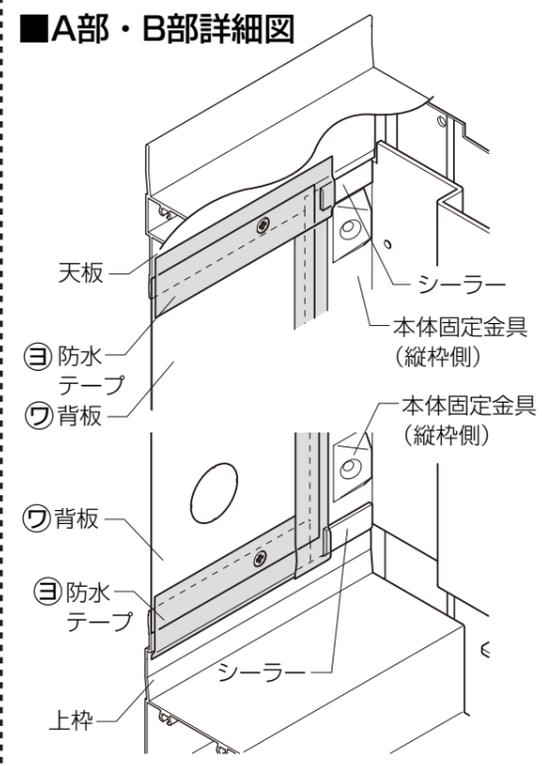
- ①本体枠を裏返します。
※補強ブラケットおよび位置決め金具が作業台に当たらないように注意してください。
- ②㊦背板の「ウエ」の表示が室外側に来るように㊦の向きにして、天板・本体上枠の溝に背板を合わせて㊦皿小ねじで取付けてください。



- ③本体上枠のフィン、縦枠の本体固定金具、天板のフィンに㊦防水テープを張付けてください。
- ④㊦防水テープを圧着します。

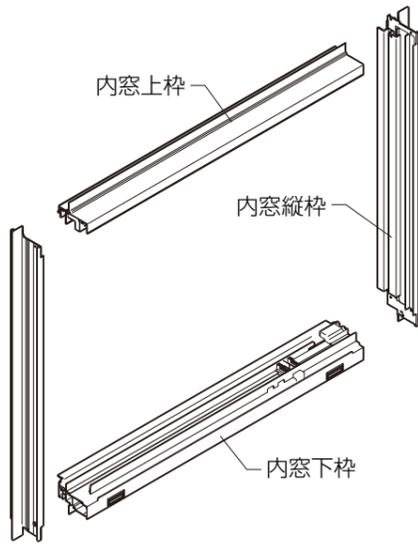


■A部・B部詳細図



⑤張付け後、㊦背板、㊦防水テープに浮きがないか確認してください。

2内窓の組立て

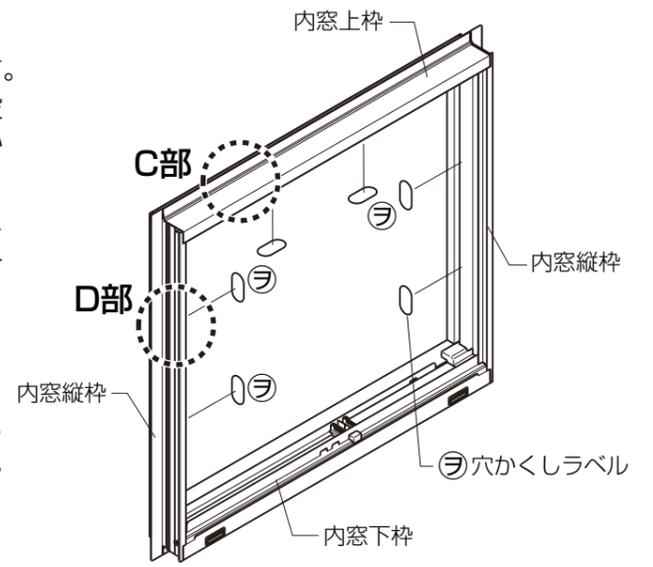


2内窓の組立て

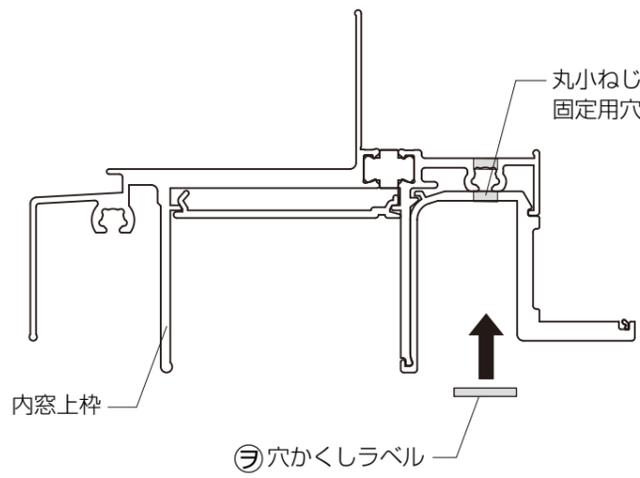
①内窓に同梱の組立て説明書を参考にして組立てます。
 ※障子は組立てのみで、建込みは枠の取付け後に行います。
 ※組立てができなくなるおそれがあるため、内窓が連窓窓の場合は製品が基本寸法通り組立てられているか確認してください。
 ※内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、本体左縦枠の上下にある位置決めピースを外します。

(②は引違い窓の場合のみ行ってください。)

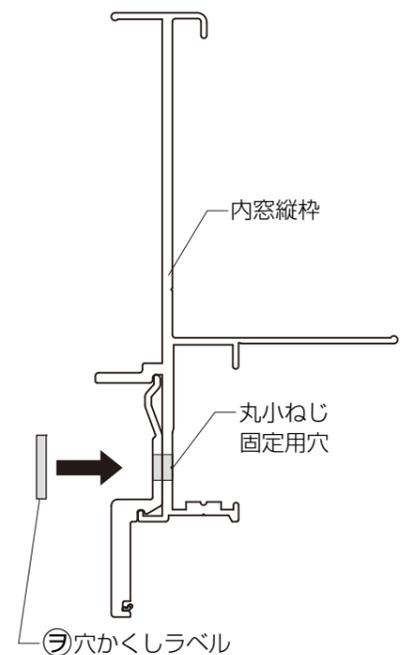
②内窓縦枠および上枠の丸小ねじ固定用穴をふさぎます。
 ※㊶穴かくしラベルは、内窓引違いに同梱されています。
 ※㊶穴かくしラベルの色は、内窓の室内側形材色と同じ色のものをお使いください。
 ※㊶穴かくしラベルは余る場合があります。



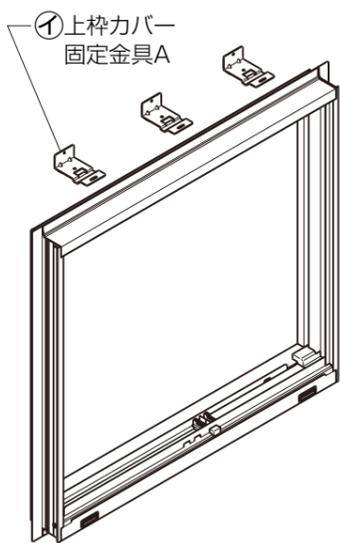
■C部詳細図



■D部詳細図

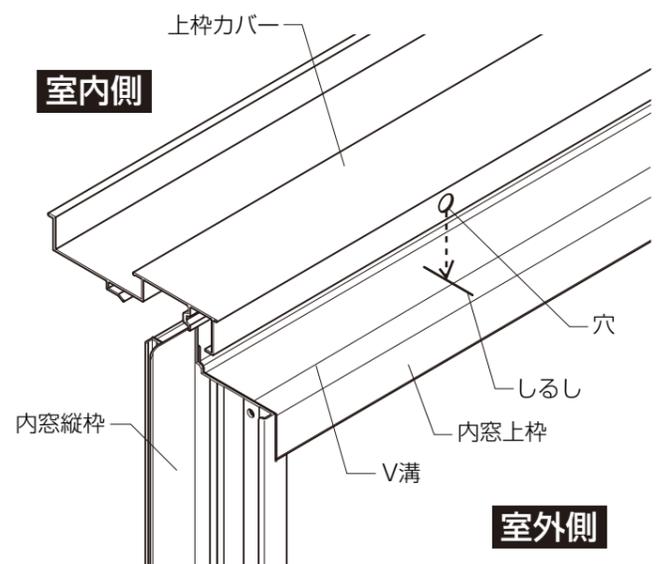
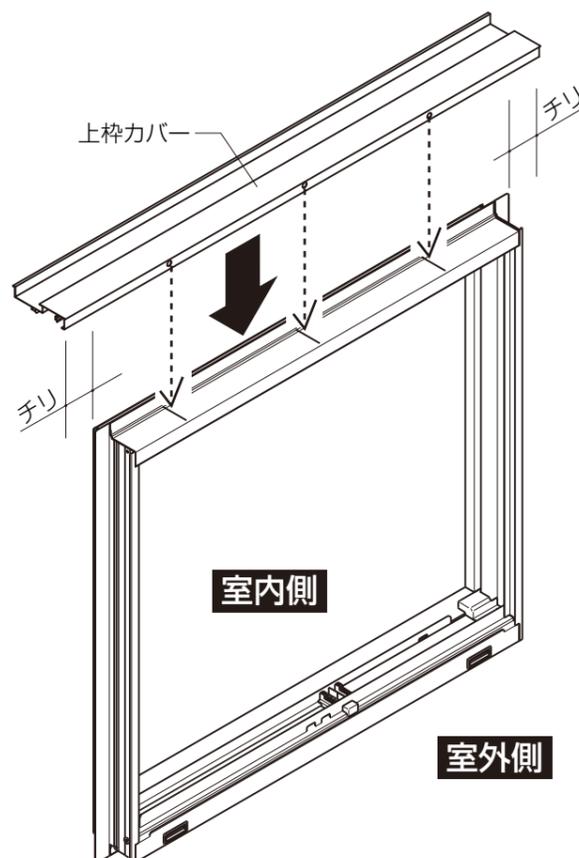


3上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工



3上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工

①④上枠カバー固定金具Aの位置決めをします。上枠カバーを内窓上枠の上に左右のチリを均等にしておき、上枠カバーの穴ピッチに合わせて内窓上枠上部にマジックなどでするしを付けます。
 ※チリを均等にしないと、上枠カバーを固定できないおそれがあります。
 ※連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合は不要です。



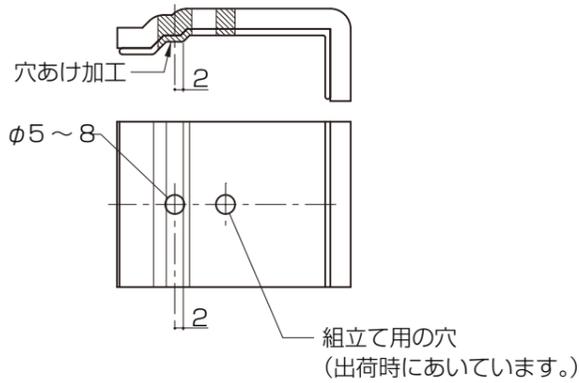
W寸法	729 ≤ W ≤ 1891	1891 < W
穴数	3	5

(②～④は連窓の場合のみ行ってください。)

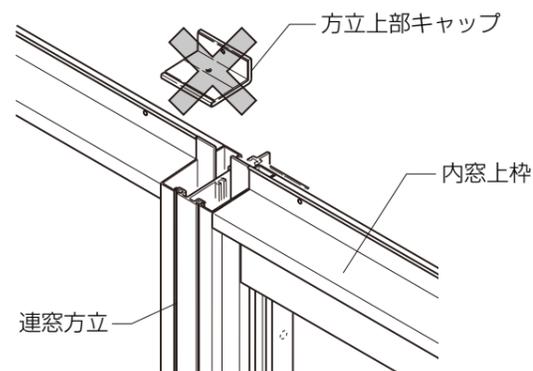
②連窓下部キャップに下図のようにφ5～φ8程度の穴をあけてください。

▲ 注意

●連窓セットを取付ける場合、連窓下部キャップに必ず穴あけ加工してください。



③連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合、方立上部キャップを外します。

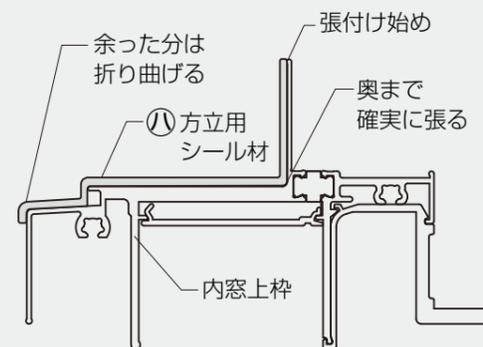
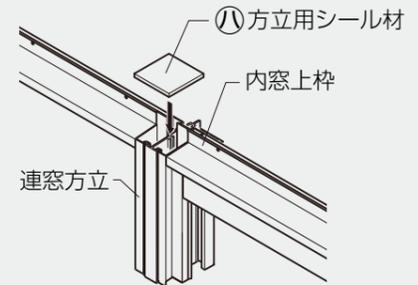


④③で方立上部キャップを外した連窓方立上部に、左右のチリを均等にして⑧方立用シール材を張ります。

※この場合、内窓枠の取付け時に上枠カバーの穴位置に①上枠カバー固定金具Aを取付けます。

▲ 注意

●方立用シール材は、図のように内窓上枠および連窓方立の形状に合わせて張ってください。

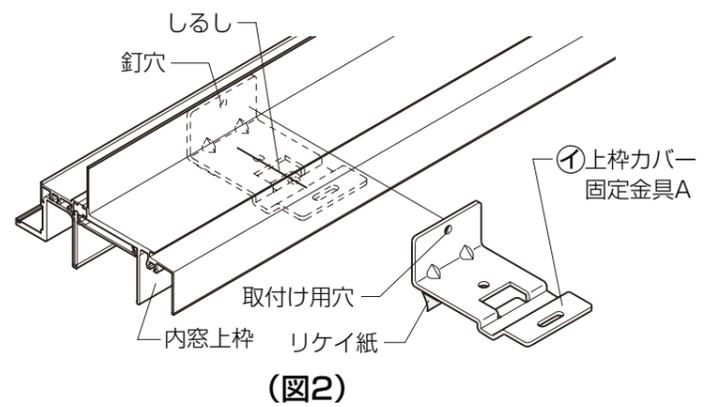
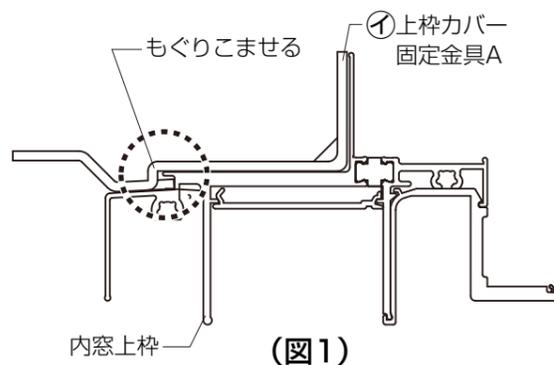


●連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップは外さないでください。

⑤①上枠カバー固定金具Aの両面テープのリケイ紙をはがし、内窓上枠の突起にもぐりこませるように内窓上枠に張ります。(図1)(図2)

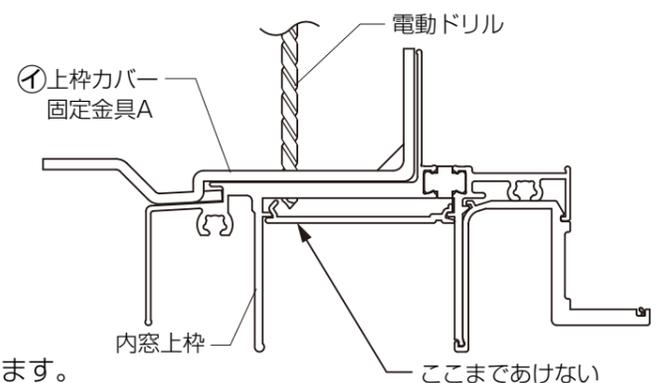
※左右方向は、①のしるしが部品の中央に来るように位置決めします。(図2)

ただし、上枠カバー固定金具Aの取付け用穴から内窓の釘穴が見える場合は、内窓の釘穴で位置決めします。①上下方向は、内窓上枠に押付けます。



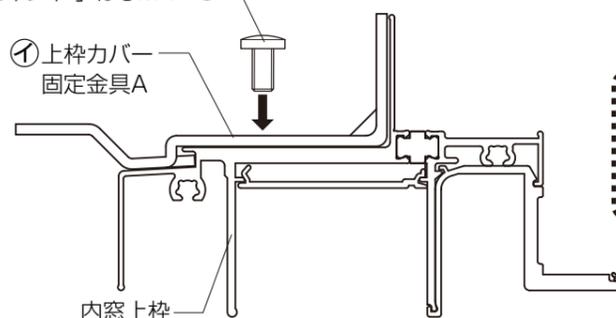
⑥①上枠カバー固定金具Aの穴をガイドにし、手で押さえて内窓上枠にφ3.4の穴を電動ドリルであけます。

※内窓上枠がホローの場合、貫通しないようにします。



⑦①上枠カバー固定金具Aを⑧バインド小ねじで止めます。

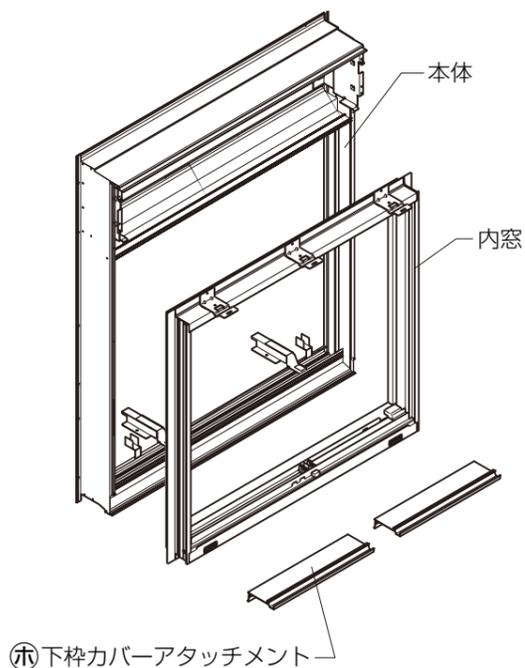
⑧バインド小ねじM4×8



お願い

※⑧バインド小ねじは手回しドライバーで固定してください。締過ぎると下穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

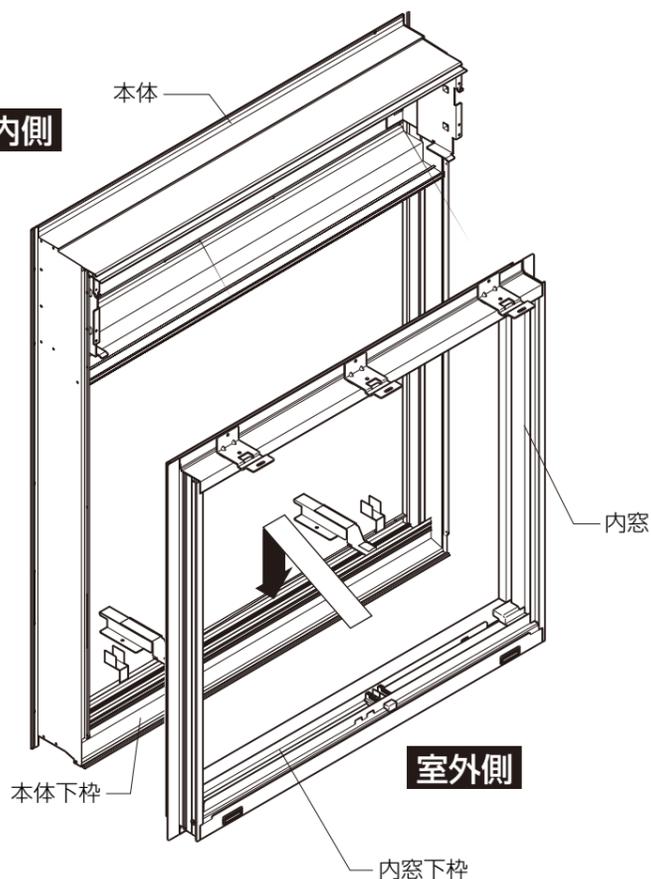
4 内窓枠の取付け



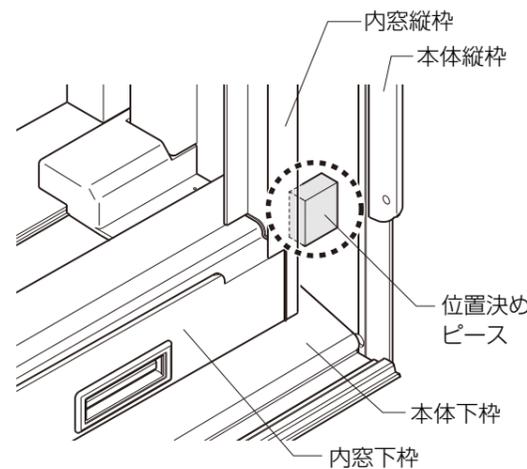
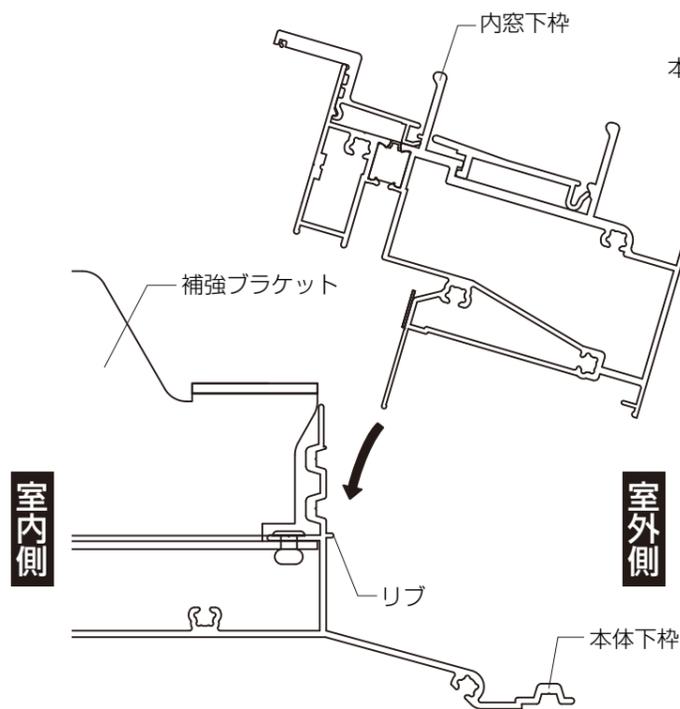
4 内窓枠の取付け

- ①内窓の下枠を斜めから本体下枠に滑り込ませ、上へのせます。
- ※必ず内窓下枠が補強ブラケットに当たっているか確認してください。
- ※補強ブラケットのないサイズの場合、型材のリブに当ててください。
- ※左右方向は、本体左縦枠にある位置決めピースに内窓縦枠を当てます。上下方向についても、それぞれ本体上下枠にある位置決めピースに、内窓上下枠が当たっていることを確認してください。ただし、内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、位置決めピースを外して、本体縦枠と内窓縦枠の左右のチリを均等にします。

室内側



室外側

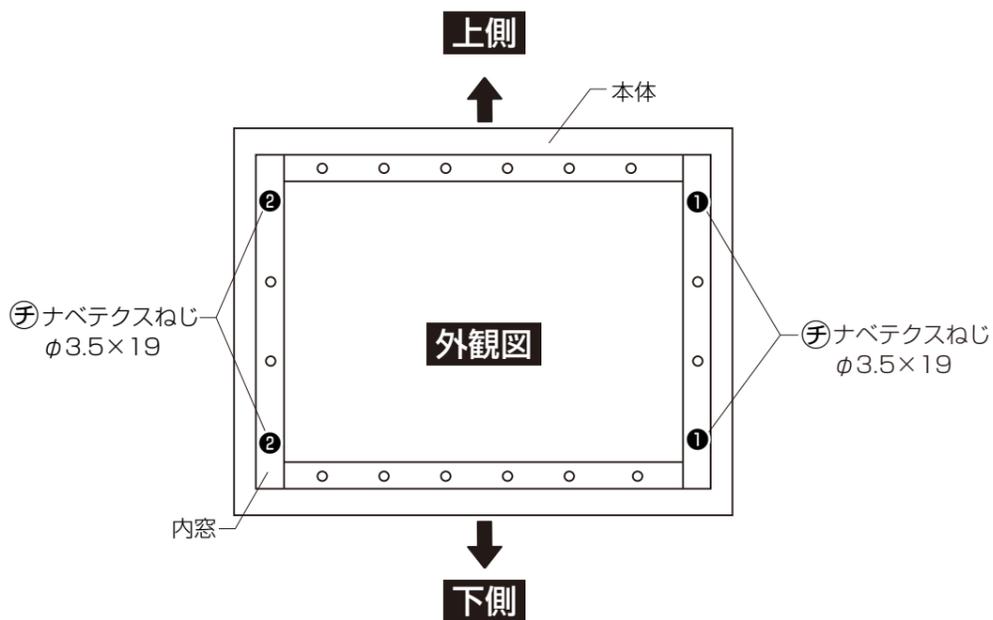


▲ 注意

●内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。

②内窓を本体に仮止めします。

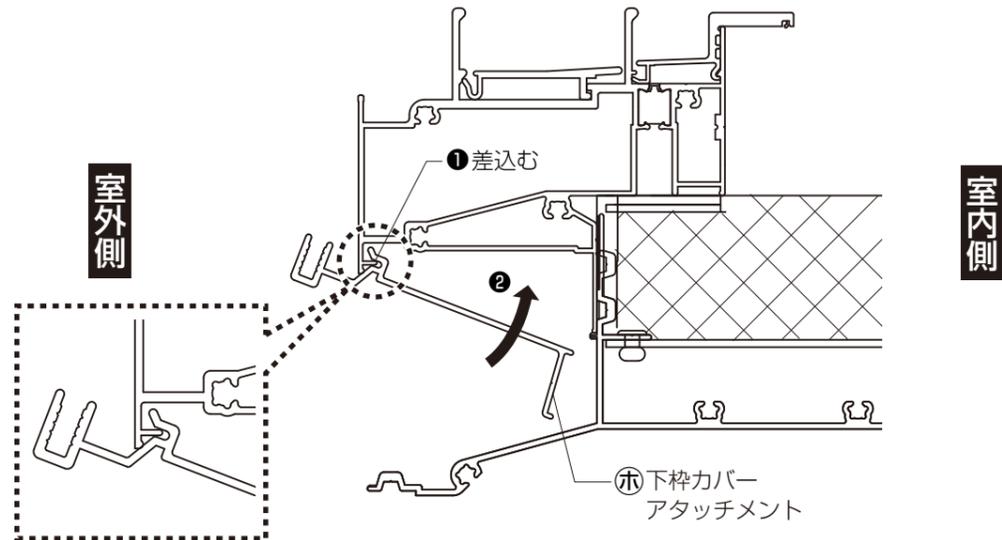
※ズレ防止のため、①の釘穴を利用してφ2の穴を電動ドリルであけ固定します。内窓の対角の出ていることを確認して、②にφ2の穴をあけ固定します。(対角寸法の差は2mm以内)



お願い

※ナベテクスねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

③Ⓔ下枠カバーアタッチメントを内窓下枠に差込み、回転させて引っ掛けます。

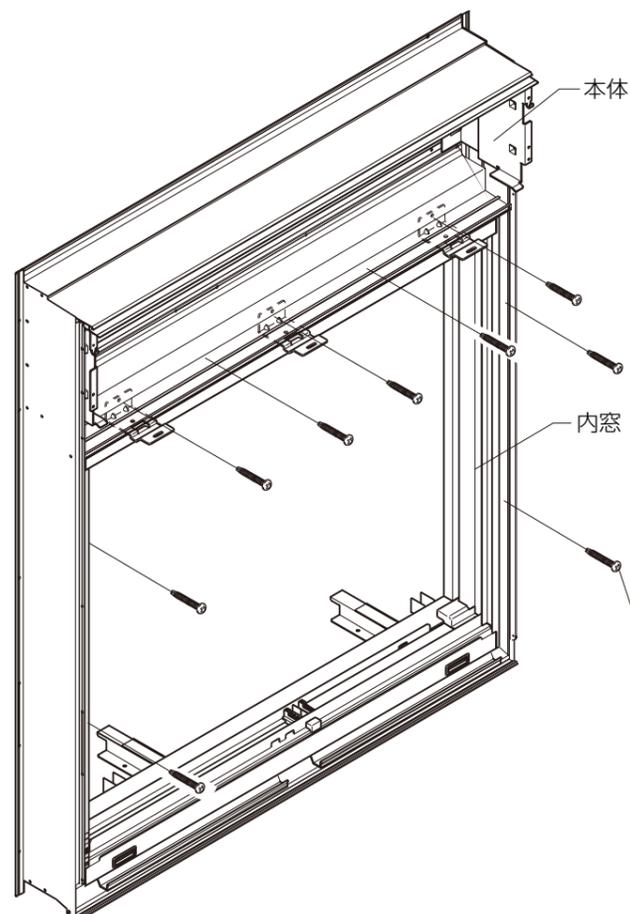


④Ⓔ下枠カバーアタッチメントをφ2の下穴をあけ、⑨ナベテクスねじで止めます。
 ※固定位置は下表を参考にして均等に配置し、⑨ナベテクスねじで固定します。

W	下枠カバーアタッチメント使用数	下枠カバーアタッチメント固定位置
114、119、128、133	3	○ ○ ○
160、165、178、183	4	○ ○ ○ ○
220、233、243、256、270、283	5	○ ○ ○ ○ ○
165 TFT	4	○ ○ ○ ○ ○ ○
165 TFFT、4T	4	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
256、270、283 4T	5	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

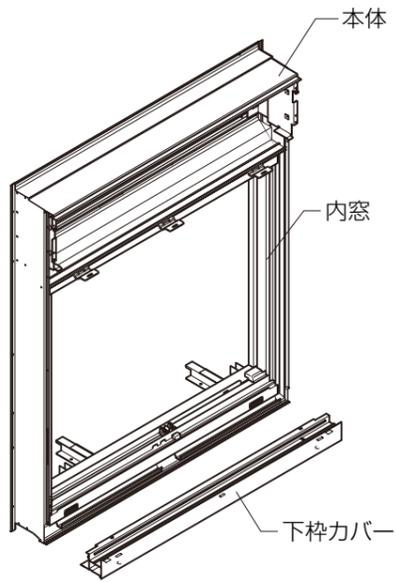
方立 ○: 下枠カバーアタッチメントの穴

⑤内窓上枠・縦枠および④上枠カバー固定金具Aを固定します。
 ※連窓の場合で方立用シール材を使用する場合、上枠カバーの穴位置に④上枠カバー固定金具Aを取付けます。
 ※内窓釘打ちフィンの穴位置に⑨ナベテクスねじで止めます。
 ※④上枠カバー固定金具Aは、部品の穴を利用して⑨ナベテクスねじで止めます。
 ※⑨ナベテクスねじは余る場合があります。
 ※④上枠カバー固定金具Aが全て止まっていることを確認してください。



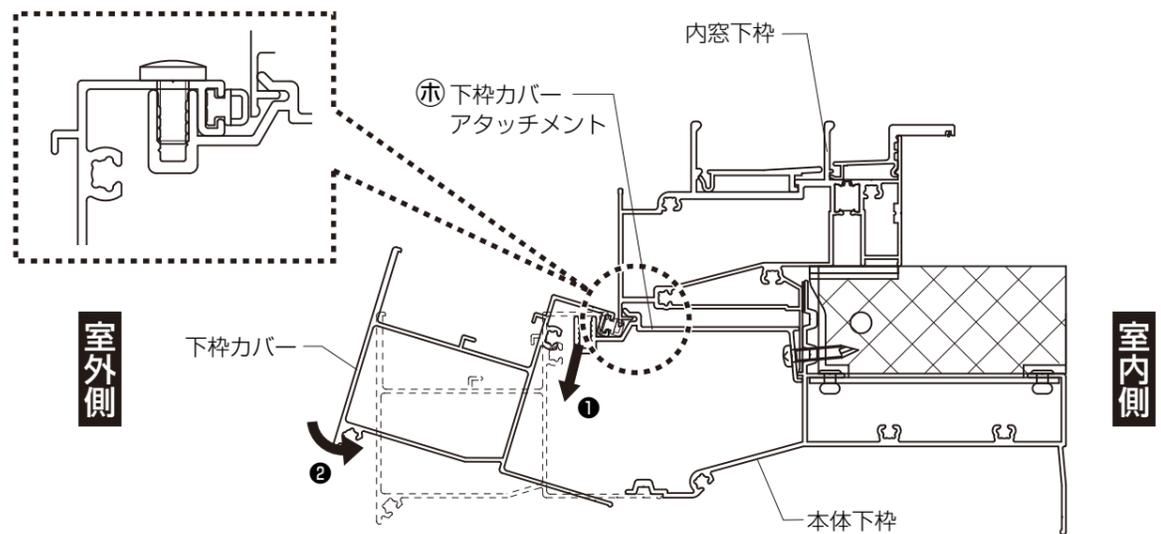
●お願い●
 ※連段窓数が多い場合、釘穴数に対してねじ本数が足りない場合があります。ねじが足りない個所についてはφ3.4のキリで穴あけ後、M4×12以上のバインド小ねじで固定してください。
 ※⑨ナベテクスねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

5 下枠カバーの取付け



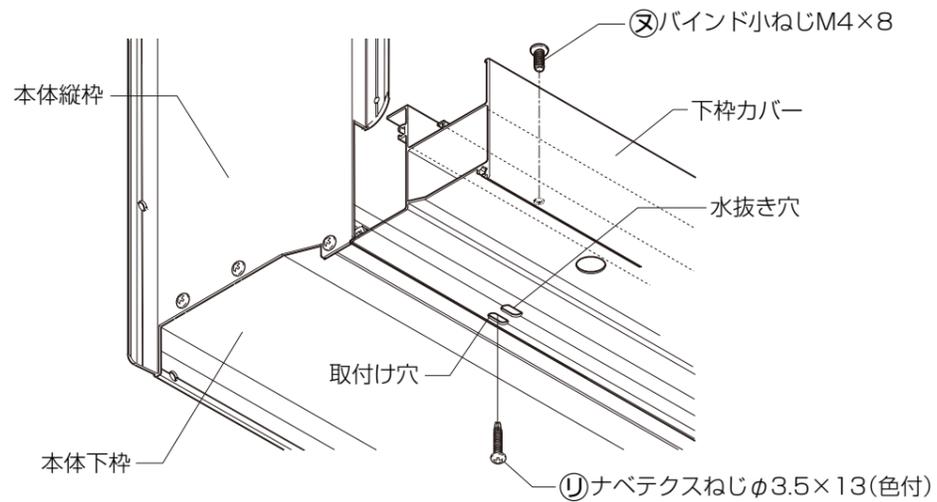
5 下枠カバーの取付け

①下枠カバーの端を本体と合わせて、リブを⑥下枠カバーアタッチメントの引っ掛かりに端からはめ込んで回転させ、本体下枠にかぶせます。

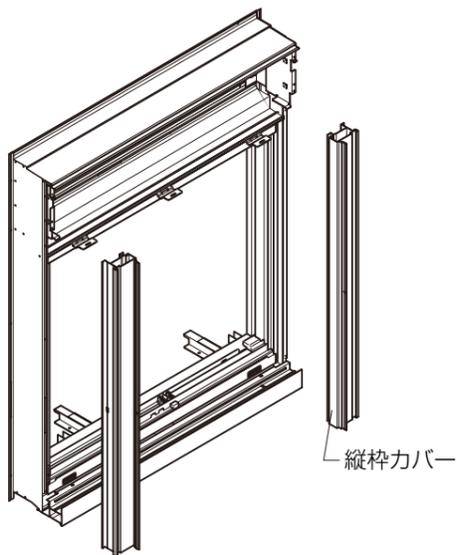


②左右のチリを合わせて、下枠カバーを⑧バインド小ねじにてねじ止めします。下枠カバー下部の取付け穴をφ2のキリで穴あけ後、⑨ナベテクスねじ(色付)にてねじ止めします。

※下枠カバーは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は、一度ゆるめてチリを合わせて締直してください。

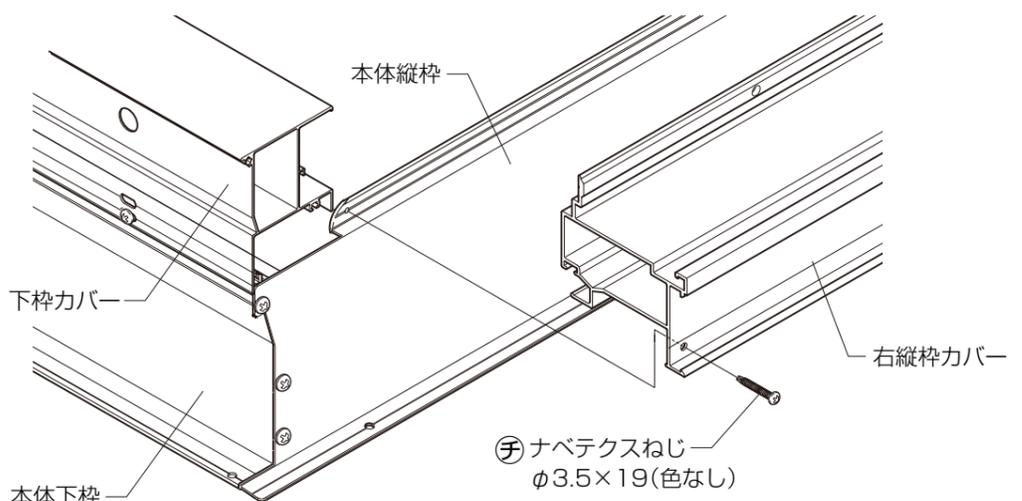
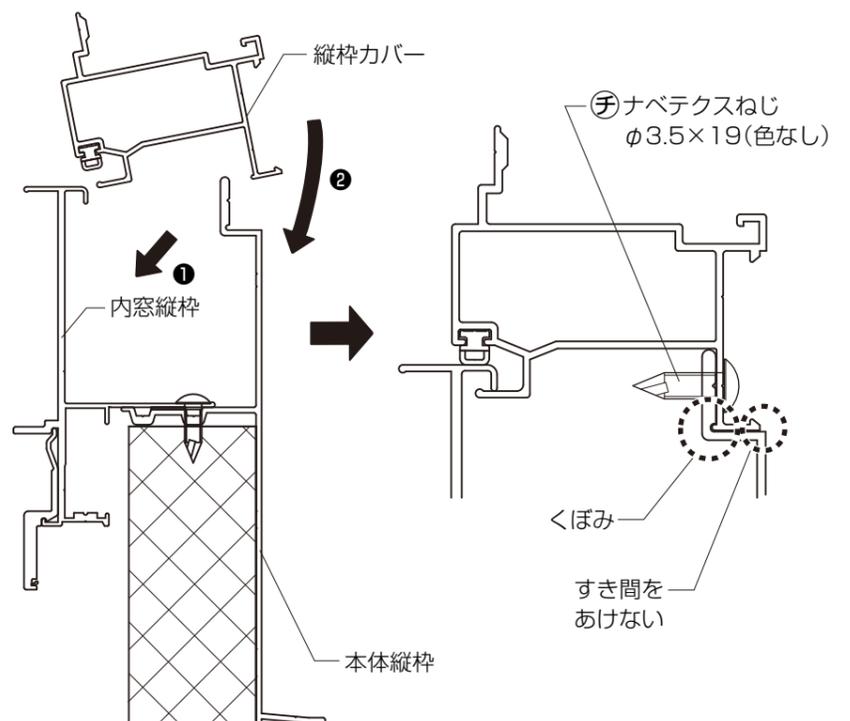


6 縦枠カバーの取付け



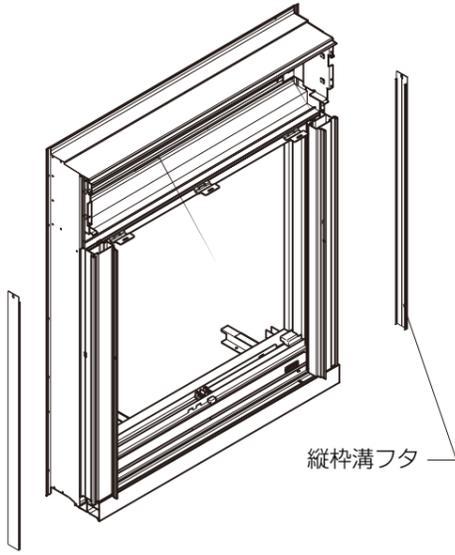
6 縦枠カバーの取付け

- 縦枠カバーを内窓縦枠に引っ掛け、突起を縦枠カバー取付けフィンのくぼみに合わせて⑦ナベテクスねじで止めます。
- ※上シールが張ってある縦枠カバーを上にして右縦枠カバーとして使用してください。
- ※縦枠カバーと本体縦枠にすき間ができないようにしてください。
- ※縦枠カバーを端から順番に押し込みながらはめ込み、下枠カバーに当てて上下方向の位置を合わせて⑦ナベテクスねじで止めてください。

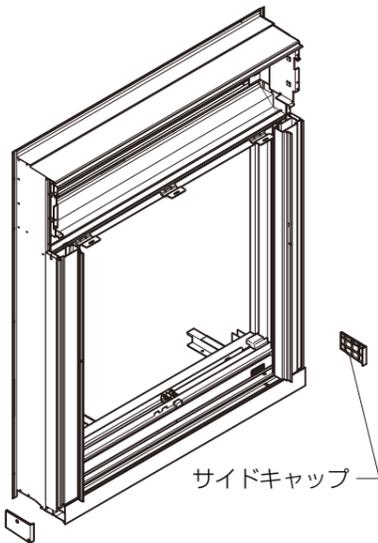


※上下方向は、下部サイドキャップに軽く当てます。

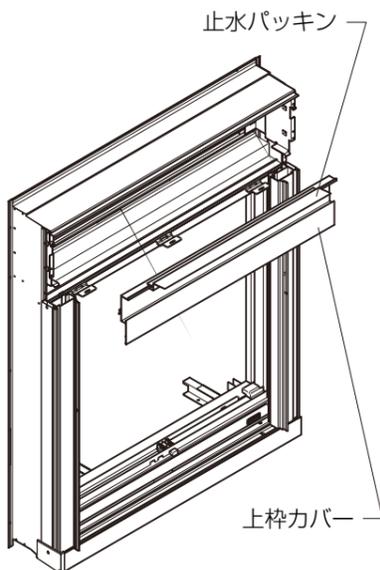
7 縦枠溝フタの取付け



8 サイドキャップの取付け

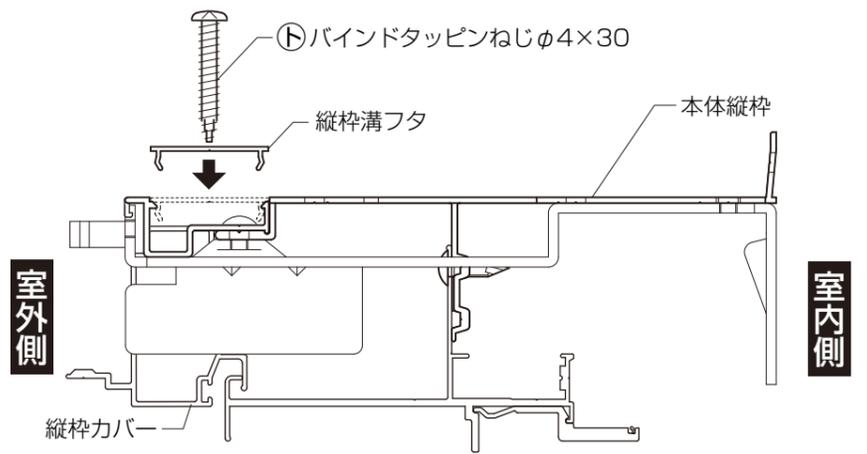


9 上枠カバーの取付け



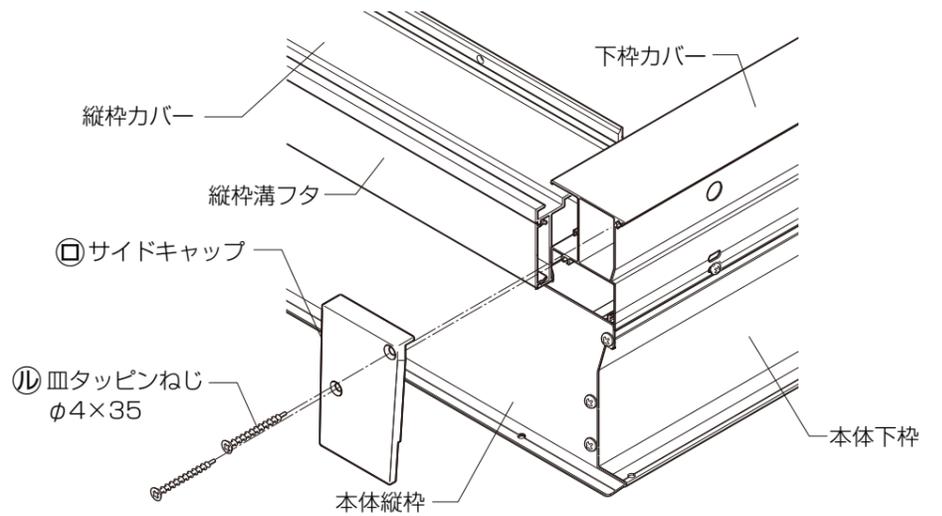
7 縦枠溝フタの取付け

- シーラーの張ってある方を上にし、天板の上面と縦枠溝フタの上端面を合わせてから①②バインドタッピンねじで止めて、縦枠溝フタをはめ込んでください。
- ※はめ込みにくいときは、当て木してプラスチックハンマーでたたいてはめ込んでください。
- ※縦枠溝フタは、浮きがなく奥まで入っていることを確認してください。



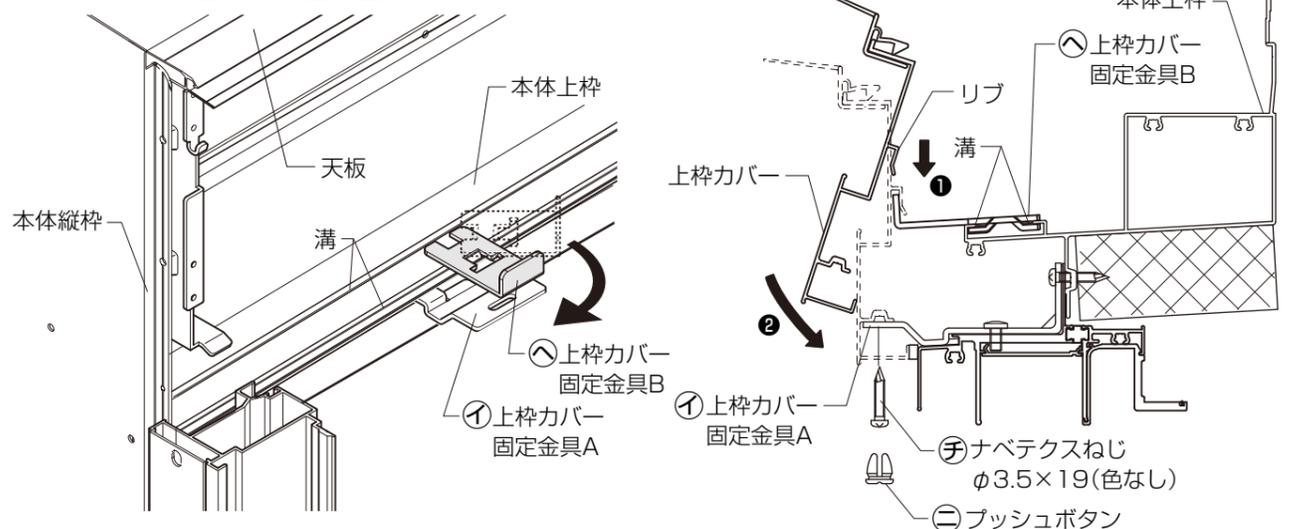
8 サイドキャップの取付け

- ③④サイドキャップを下枠カバーに⑤皿タッピンねじで止めます。



9 上枠カバーの取付け

- ①②上枠カバー固定金具Bを、③上枠カバー固定金具Aの位置に合わせて本体上枠の溝に入れ、時計回りに回して取付けてください。
 - ②上枠カバーのリブを④上枠カバー固定金具Bに引っ掛けてから回転させ、はめ込んでください。
 - ③左右のチリを合わせて、④上枠カバー固定金具Aの長穴を狙って⑤ナベテクスねじで止めます。
- ※④上枠カバー固定金具Aは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は一度ゆるめてチリを合わせて、同じねじ穴を使用してください。(チリは片側で最大1mm)
- ④上枠カバーにプッシュボタンを取付けます。
- ※はまり具合は目視又は直接金具にふれて確認してください。



組立て後の取扱いとお願い

- ※組立てた後、サッシ枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- ※移動する場合は立てたまま縦枠部分をしっかり支持し、重量の重い連窓の場合は方立部分も支持してください。

